

広報 ごじようめ

発行所 秋田県五城目町夜場 編集 総務課 電話(018876)代 2100番
印刷所 湖東印刷所 電話(018876)2430番 (一部五円)
郵便番号 018-17 毎月 1日・15日発行

<ミニ知識> 公害用語解説

PPM、極微量の濃度を示す単位で100万分の1のこと。空気1冊中に亜硫酸ガス1冊(1cc)含まれていれば1PPMという。

オキシダント

光化学スモッグの主成分であるオゾン、窒素酸化物PAN(パーオキシナイトレート)など、酸化性物質の総称。

たなばた祭り

【8月6日】

七夕、中国および日本で7月7日に行なわれる行事。中国では、この日婦女は裁縫の上達を祈り、これを乞巧奠(きつこうてん)という。

牽牛星(わし座のα星アルタイル)と織女星(こと座のβ星ヴェガ)とが天の川をへだてて相対するとの伝説は、古く<詩経>にもみえているが、この二つの星を恋人に見立てることは、後漢時代(2世紀)の古詩にはじまり、さらに年一度、7月7日の夜に逢(おう)瀬をたのしむという話は、六朝(りくちよう)の文獻である<擬天問>や<風土記>にはじめてあらわれるおそらく時代が下がるにつれて、伝説の内容も豊富になつたのであろう。

中国の星祭は古く日本に移され、すでに<万葉集>にもその歌が幾首もみえているが、はじめ星祭は宮廷貴族を中心とする都府の生活のうちにつたえられ、貴道の上達や恋愛の成就などを祈る風となつた。江戸幕府はこれを年中行事にとりあげ、武家の風習ともなつたので、しだいに庶民へも普及するにいたつた。

日本では牽牛、織女の二星が天の川に架かるカササギの橋を渡つて、年一度の逢瀬を得ると言う伝説によつたもので、昔は棚機(たなばた)の語義から紅白の小田巻(おだまき)の糸をかざり、ひそかな恋の願の成就を祈ることもあつた。

なお本町の七夕は、ほとんど子どもが主体で、町内部落毎の登籠は、子どもの世相が反映したものが多く、登籠コンクールの様相を呈する。本町部の鳴り物は素朴なもので、他市町村には例をみない石油の空缶である。それでも彼等の通るコースは人の熱気でムンムンする。半月もかかつた作品を見ようとするのか、狂つたリズムをかなでる石油缶の音に引き寄せられるのか6日の夜には汗してがんばる子どもたちの姿に接することが楽しみである。

たなばたの結ぶ間も舞へる色紙かな 桜 坡 子
七夕や筆なほ老いず母の文字 圭 子



新加町 伊藤鉄郎氏 提供

広報サロンの

税完納十一年の年輪



吉川町納税組合長 佐藤友治

古くから十年ひと昔と云う言葉をよく聴かされた。この言葉にはいろいろの意味があるかと思ふ。まず一つには十年を一区切りにしてこの間の過去を反省し特筆の指針にすることか、二つには11月の過ぎること光陰矢の如く早しとか、三つその境遇厳貞によつて意味あひもあろう。当吉川町納税組合も十一年の年輪を刻むには三つの意味あひが実感だ。昭和三十一年七月六日に古川町の土地に四十二業種別の幼木組合員を九十本植樹したのですが、果して全幼木が現在の年輪を刻んだ成木に生長するとは、我々役員は勿論組合員も誰が想像したであらうか。然かも三十五年には七十九組合四十五年度末現在百三十八組合の設立を見ているようであるが、じま十一年間他組合の追隨を許さぬ第一の組合員数の幼木が枯死せず成長し得た成果は、町当局の温情あるアドバイスは勿論であるが、役員及び町民各位の和の統合と納税意欲が幼木の年輪をより多く刻み込もうとした肥料を毎年施肥したに他ならぬ。

またこれには福寿寺と笹尾医院の肥料の大供給源があったこと等をまたない。広域行政、町村合併等と呼ばれている今度、同一町内で第四組合し別等という町内には如何に統合し別組合をリードしては如何に。はお叱りを頂戴するかな。随分々々でも非川村の全村完納日本一は後しい限りである。各組合の構築と当組合の成木が幾久しく年輪の刻まれ行かれんことを念ひつづ。



8月1日 五小、五一中で

本町では、青少年間問題の協議会と教育委員会の協力を得て、八月十日五城目小学校、五城目第一中学校、五城目第一小学校の会場として、年々遊ばない子どもが多くなっているのは、いったいどうしたことなのだろうか。これは子どもを取りまく社会環境、家庭環境の影響なのか、少産による子どもの過剰保護、子どもへの能力の過大評価にもつづくめ込み的教育投資、これに拍車をかける社会的責任無重主義の風潮、子どもたちの将来を思う親心か、そして自然の遊び場をうばわれた都会の子どもを対象とした、テレビ、出版物の影響で、都市的遊びが画一化され、大自然の偉大な遊び場を忘れてしまっているのではないか。

学校施設は満足できないものも部分的にはあるにしても、一校一プール、給食施設百%、大規模校にはサブ体育館、幼稚園二、児童館四カ所、保育所四つと合併後約五億円の学校建設費と施設整備費を投じ、社会教育施設、行政施設一切の建設を担ってきた子どもたちの環境整備に努めてきている。

さて人間の諸文化は自然との対話は中から生まれていくが、このことは人類の歴史をみれば、技術がそうであり、宗教がそうであることに気がつく。今都会地では、子どもたちを文化にない手たる創造人間に育てるため、自然との接触回復の機会を与える

動がすめられている。この点でもわが町の子どもたちは、緑の多い自然環境の恩恵に浴しており、保健休養林の設置、鳥獣センターの実現で更にその内容を充実しようとしている。こうしてみるとわが町の環境も、子どものためをめぐりおき、総じて高いレベルにあるのではないだろうか。

①バスで町内巡回を行なう
 ②演奏場所 郵便局前、役場前、栗山タタミ店前、田町民市場前
 一・二・三・五、
 スポーツレクリエーション
 三・五・四・三
 五城目小学校(移動)
 四・五・一・五三 器楽演奏
 五小器楽(体育館)
 五中(ラバン(グラウンド)演奏
 五三行
 五三・一・六・一 夕食
 夕食後キヤンプファイヤーの歌唱練習
 六二・一七
 アトラクション
 筆灯(小若三木・大若二本)
 子ども音楽
 一・二・三・五
 キヤンプファイヤー



写真は=老令年金受給第一号として加賀谷町長から老令年金証書と記念品を受ける喜びの受給者

(三二解説) ④ 国民年金

▼払う金と受ける金の損益計算について

国民年金に加入した人は、安い保険料をかけた、高い年金が受けられる。この関係を、十二しながい目でみて分行してみよう。

例えば、人生の途中で交通事故や不治の重病に見舞われて、障害者になったときには、本人が年額五千四百円(来年七月からは六千六百円)定額保険料を一年間完納しておれば、下の表にみるようになります。

かりにそのまま、四十年間受給すると、総額四百八十万円か、三百八十四万円になって、掛けた保険料の九百倍か、七百倍かが支給されるという嘘のような本當の話が実現することになります。また一家の大黒柱の主人になくなられた母子家庭や、おばあさんや姉さん、孫や弟妹たちが残された家庭でも、定期保険料の一年分さえ完納してあれば、不幸のあったときに年額九万一千二百円(子供一人を増すごとに四千八百円がこれに加わる。)受けとれるので、かりに十八年間受け続けたときの総額は、最低百六十四万一千五百円

加入して満1年後の受給額の内訳表

種類	保険料を納める人	納めた一年分の保険料 (共通) 45年7月から2年間は年5,400円 以後は年6,600円	受給期間					総額
			5年間	10年間	15年間	20年間	30年間	
障害年金	本人	1年あたり 120,000 2級 96,000	600,000	1,200,000	2,160,000	3,600,000	4,800,000	
			480,000	960,000	1,728,000	2,880,000	3,840,000	
母子年金	子の母	(共通) 91,200	456,000	912,000	1,641,600	2,880,000	3,840,000	
			456,000	912,000	1,641,600	2,880,000	3,840,000	
遺児年金	子の祖父母か親	(共通) 91,200	456,000	912,000	1,641,600	2,880,000	3,840,000	
			456,000	912,000	1,641,600	2,880,000	3,840,000	

となり、掛けた保険料の三百倍程度の受取高となるわけですね。

◎先月号の広報に別引額三百三十万円とありますが、これは百三十万円の誤りですのでご注意ください。

盛会だった老人福祉大会

七月二十五日五城目小学校校体育館に於て開催された第七回老人福祉大会は、好天気に恵まれ早朝から駆けつけた老人クラブ会員(年令六〇才以上)は午前十時頃まで引きもきらぬ状況でその数七五〇人を数え未だかつてない盛況であった。

町長や町議会議長からの温いいたわりの祝辞、県老連会長佐藤一郎氏の老人とは思えぬ元氣な講演等で午前中の行事を終り午後は民謡日本一を多数生み出した民謡界の至宝浅野梅若師が一連の若手連中十三名と共に舞台上に上り四、五十年前に昔に歌い親しまれた、津軽じょんがら節、同小原節秋田追分等本場に老人達のなつかしの名調子が満員の会場一杯にくりひろげられ歌うもの聴くもの、真に一体となり切った状態が展開された。



今日ある町の姿を築いてくれたみなさんに、一日でも楽しい日の多くなる事を念願して施策を配慮しておきます。

昭和四十三年で全国の老人は、約七二万人とされているが、五人のうち二人は病人で、七〇才以上の寝たきり老人は二〇万人といわれている。本町でも家族のめぐまれない寝たきり老人のためにホーム(ヘルパー)老人家庭奉仕員)を二名採用し、十二名の健康管理にあたり願います。

また老人の病状の上位を占める脳卒中、心臓病、ガン等の早期発見のため、毎年数回にわたる保健所等と協力して、巡回健康診断を実施している。

自衛隊協力会総会開催

会長に加賀谷力司

八月六日午後一時三十分

五城目町公民館で、昭和四十六年度自衛隊五城目町協力会総会を開催し、四十五年度の事業報告や収支決算書を確認したあと、四十六年度の事業計画や、予算について承認を得、役員改選などをおこなった。

改選された役員は次のとおり、
 会長 加賀谷力司
 副会長 二木敬治
 理事 荒川豊治
 小玉久治郎
 畑沢市郎
 伊藤卓治
 伊藤一実
 伊藤富司
 山田茂右門
 石川茂右門
 小玉正義

達成の一助に今回本町町民にて公開ケース研究会を左記により開催します。

八月六日午後一時三十分

五城目町役場第一会議室

一、参加者
 保護司、民生委員青少年健全育成世話人、学

校長、校外補導教諭、青年会、婦人会幹部

全県で二回です。該当者はふるって参加するよう願います。正味三時間で終る予定です。

環境美化は

住民一人一人の理解から

前号(七月十五日号)につづいて、各地区ごとに環境の汚染状況についておしらせし、広く住民のご理解とご協力をお願いいたしました。

住民の健康を守るための

八月中の検診のお知らせ

町では住民の健康を守るため今年度になって、第一次結核検診(血圧測定と同時に)を全町の半分以上を実施し、また子宮がん検診も七月中で終了し、更に種痘、小児マヒ、日本脳炎等の予防接種も終了しましたが、今月の検診等は次のように行なわれます。多数受診されますようおすすめてします。

胃部検診の実施

八月二日・十一日までの土・日を除く八日間、すでにまともでない受診希望者を対象に実施しますが、前もって申し込まなかった方も当日は受付に申し出て、多数受診されますようおすすめてしております。但し胃部検診の場合ほとんどは胃に一切のものを入れてはいけませんのでその点に注意いただきます。

循環器検診の実施

八月十六日から二十三日までの土・日を除く五日間、希望している方を対象に行ないますが、胃の検診同様当日申し込んでお結核で付近し、更に昨年度比較的血圧の高い方には特別通知しましたが、今年もその方々は是非受診されるよう心にしてください。

富津内地区

一般家庭のごみ(不燃物含む)が山下内の中学校校舎野橋の橋の付近や、上山内の土広ヶ野橋富田橋付近、更に落合部落の川岸にも可成り捨てられています。また千日の部落内川岸にも多量に投棄されています。

内川地区

一般家庭のごみでは湯ノ又部落の日の沢橋付近、金ヶ沢の川岸農協内川支所の付近、浅見の川岸八田橋付近その他、小介の川岸等に多く投棄されている。

馬場目地区

1、坊村方面の川にまた遺棄物を捨てて者がある。樋口をはじめ馬場目川一帯に、一般家庭のごみ等が捨てられている。
 2、また部落の住宅下の道路わきにも、一般家庭のごみが捨てられている。

日本は急速に老人の多い高齢化社会へ移行しているが、それにとりなつて老人をめぐる問題もまた複雑になっていく。本町ではその問題の背景を常に考慮に入れて、老人の充実、老人医療費の軽減、年人福祉施設の整備など、町財政の止と住民の参加ですがこの目的

公開ケース研究会開催

第二十一回社会を明るくする運動の重点目標は「青少年の非行防止と住民の参加」ですがこの目的

新成人485名 <8月15日式典>

無限の可能性を秘めて

町では、新しく成人になる四人にはじまり、日本人としてのいろいろな義務を果さなければならないために、来る八月十五日(日)五城目第一中学校の体育館を式場にして、昭和四十六年度の成人式をおこなう。洋々たる前途の門出をお祝いする。

この機会に、成人になるといふのは一体どんなことを意味するのか、家族、みなさんや、友人、仲間たちで話し合ってみるのも意義があるのではないか。二十才ということは、国政への

参加資格即ち選挙権を有すること、八五名の若人の責任も課せられる。「十代は土くすく、二十代は人くさい」といふ言葉がある。十代は自然科学の仕組みに驚異の重さがおかれる。昆虫、魚類、動物これらの集団生活に目を見はやり宇宙のなぞに興奮を覚える等、自然が対象であり、しかし、ハイティーンから二十代にかけては、性的成熟により異性を意識しはじめ、恋を知り、芸術を語り、社会悪を批判しはじめ、社会に受け入れられない暴走をまねくこともあるが、対象を人々社会の中に求めはじめ急速に人々さくなる。そして夢と理想が、事ある毎に打ちくだかれ、苦悶し絶望しながらも新しい夢をいだいていくのが、青年であり青春である。大切なことは、社会の中で打

ちくだかれても打ちくだかれても理想と夢を持ち続けることが、精神の成長をはかりながら安定させるの一生を左右する要因にもなるようだ。現代の若者は幸せだとよくいわれるが、新成人のみならずには、失礼だがそれがどんなに貴重なものかよく理解できないのではないのか。太平洋戦争ではわずか四年の間に、いたいけないうちもから老人まで、二五〇万人の日本人が死んでいる。現在の秋田県の人口の二倍強である。今日ある日本の平和は、このような人々の犠牲の上に築かれていることを忘れてないでほしい。目を外国に転じてみれば、ベトナム戦争、アラブ戦争等でみなさんと同世代の青年たちが、同胞民族同志で殺し合いをやっている。つまり、これらの国の青年たちの運命は、国家によって支配されて

おり、わが国の青年たちの前途にはただ無限の可能性があるのであるだけである。この違いをよくかみしめてみる必要があるのではないか。あと二、三年後十九年後いわゆるみなさん四十九才頃になり、地球は二十一世紀を迎える。その頃今年の成人はわが町が国の要になつていよう。その日のために次の祝詞を借りて贈る。「富貴を問わず、学生、勤労青年の別なく、神は、万人に、しかも公平に、一日二十四時間という時間を与えた。君はあすの時間を使うことはできない、きまのうの時間を、とりもたずすべし、もうただきょうの二十四時間を有効に使うことができるだけである。毎日の二十四時間をどう使っていくか。人生は、つまるところ、その決算報告書にはかならない。」この記事が、みなさんの話し合いの資料として参考になれば幸いです。なお当日の内容は次のとおりです。

一、成人該当者

昭和二十六年四月二日から昭和二十七年四月一日まで生まれたもので、五城目町の住民登録者であること。

二、開催日時

昭和四十六年八月十五日(日) 受付 午前八時～九時
式典 午前十時～十一時
ついで 午前十一時～十二時 三十分

内容

①歌ごえ指導新成人実行委員 伴奏 菊地亮二氏
②フォークダンス 指導 大湯村社教主事
近江谷勇氏
成人式のことについて何かお聞きしたいことがありましたら、五城目町公民館へご連絡下さい。 電話 四一〇番



環境美化のため大川老人クラブ立ちあがる

この町広報でも数回にわたって「環境美化は、住民一人一人の理解から」と訴えて参りましたが、七月九日ついに大川上、下老人クラブが立ちあがり、鉄橋の下から県道の橋の間のごみ処理奉仕をされました。町ではこの美事を心からよるこひ町長より「感謝状」を贈呈して、その労をねぎらいましたが、同クラブでは今後も機会をみて県道の橋より川口に向って清掃したいと言っており、また老人クラブ員達はほお口にわれわれがこの護岸の清掃をしたので、各家庭でもあちこちにごみをすてなくなるだろうと、願いをこめて語っていた。

球は二十一世紀を迎える。その頃今年の成人はわが町が国の要になつていよう。その日のために次の祝詞を借りて贈る。「富貴を問わず、学生、勤労青年の別なく、神は、万人に、しかも公平に、一日二十四時間という時間を与えた。君はあすの時間を使うことはできない、きまのうの時間を、とりもたずすべし、もうただきょうの二十四時間を有効に使うことができるだけである。毎日の二十四時間をどう使っていくか。人生は、つまるところ、その決算報告書にはかならない。」この記事が、みなさんの話し合いの資料として参考になれば幸いです。なお当日の内容は次のとおりです。

私の研究

スズムシとともに

富中 渡辺 セツ

毎年六月月上旬になると私は落ち着かなくなってきました。別に夏のボーナスが近づいたためではありません。ただ居間の本棚の下からスズムシがずらりと並んだガラス容器が気になって、日曜日などは朝から何回もぞいで、ソワソワしているのです。この容器の中にはわが家のスズムシの卵がいろいろです。たいいてい六月十日ごろつまりボーナスの出るころが産卵日なのです。この予定日は年にして狂うこともありますが、それもせいぜい一週間の位とところです。最初に新生児を発見した者は思わず大声で「生れたあ」と家中の者に知らせます。毎年のことと珍らしくもないのに「どれどれ」とのぞきこまざりにはいりません。誕生日はささやかながらごちそうを出してこれから十月末までの四ヶ月余りの世話に対しての心構えをするのです。さきようからまた忙がしくなるぞと心を新たにするのです。六月はつゆ時ですのでえさ、容器の管理がたいへんです。ちよつと手をぬくと「かじ」のためかいいスズムシがあわや窒息死というようになります。そのそろそろも御法度です。かわいいいスズムシのためにかい

県内ではじめて ワークキャンプを開催

八月七日～十日

このたび、社団法人日本青年奉仕協会主催のもとに、環境美化を主題として、次のような内容で秋田県のトツブをきつて、ワークキャンプを実施した。

一、趣旨 全国各地において、積極的に奉仕活動がすすめている人々が非常に多い。一方、五城目町においても奉仕活動に関心をもちながら参加する機会に恵まれなかった少年、又地域社会の発展のため自ら汗して地域の美化、よりよき社会環境づくりに寄与しようとする。青年を対象にワークキャンプを開催し、奉仕活動の実践を通して社会奉

仕に対する理解を深め参加を志す青年の交流と奉仕グループリーダーの養成につとめることを目的として、社団法人日本青年奉仕協会指導のもとに秋田県内ではじめて開催するものである。

二、実施期日 八月七日～十日

三、会場 場 五城目公園内雀籠児童館

四、キャンプ内容

- イ 奉仕活動
- 馬場目川の清掃美化
- 森山荘(老人ホーム)の花だんづくり
- 雀籠公園の清掃美化

札幌市農業の視察研修

都市近郊の有利性を生かした農業に

去る七月十七日当農業委員一行十八名が札幌市を訪問した際農業の長期計画と高生産性農業の育成というスロウガンを基本として進めている状況を視察してきた。

札幌市の農家は四十五年では四千九百九十戸で四十年前より十五％農家人口は二万五千三百九十九人で四十年前より十八％、耕地面積が八千八百三加で四十年前より十六％といずれも減少の傾向にあった。

ただ昨年札幌市の農林部で実施した意向調査では、なお相当の者が現状のまま農業を継続したい考えをはかっている。

えがわかった。都市近郊農業の育成のための立地の優位性をいかし、高生産農業に必要な施設は次のように進めているとみてきた。

一 市街の北部から東部にかけての平野部を中心に形成される農業地域については土地生産性の向上をはかるため、用水、排水および耕地改良事業を実施し農業生産基盤の整備をはかっている。

二 経営近代化の一環として農業機械の導入を促進して農業センターの機能を拡充し指導体制の強化をはかっている。

雀籠児童館の清掃美化
全町カーブミラーの清掃
馬川分館の清掃美化
全町子供の祭典野外活動の指導
映画会(町内子供対象)
講演(又は地域開発)
奉仕活動と地域開発
八座談会(五城目町長を同行会)
五城目町の将来展望
講談 町長 加賀谷力司
ニ集団生活
夜をつどい キャンプファイヤー 他映画会
おはようサイクリング
スポーツのつどい

夏季総合防犯運動

7月21日?8月20日

夏季に多発が予想される犯罪犯暴力の迷惑行、少年非行、水死抑制対策の育成をはかっている。

③今後の基幹作目になると考えられる野菜については集団農地の造成およびビニールハウス等を利用した施設園芸による促成、抑制対策の育成をはかっている。

④農産物の需給関係を管理調整するため貯蔵施設を整備するとともに出荷体制を強化し経営の安定をはかっている。

⑤このように長期展望に立った具体的施策としては、

- ①農業基盤整備事業に対する助成(貯蔵排水および耕地整備)
 - ②野菜生産近代事業に対する助成
 - ③家畜導入資金の貸付
 - ④農業センター拡充
- これらの事業が今後五ヶ年間の主要事故、火花の事故防止等。事犯事故防止をはかるため実施される。
- 重点事項
- 一、性犯罪の防止
 - 二、暴力の迷惑行為の防止
 - 三、少年非行の防止
 - 四、水死事故防止
 - 五、火花による事故防止

台風シーズンに そなえよう

例年夏季に入ると、台風のシーズンとなり、全国各地で多くの被害が出ています。

例年に比べて、比較的低いながらも、比較的高い台風の被害状況をもみ、死者行方不明者五十八人、負傷者九百六十六人、家の全壊二千六十八棟、半壊六千二百二棟、道路の損壊千九十八カ所

要事業として計画されていた。都市化が進むなかで公害問題に直面しながら農業経営を進めることは非常に困難なことが、自家労働経営の立地、農業技術等を考慮して農業にかかわる機関を通じて総合的な計画がなされているように感じます。

今回の札幌市農業の研修を一つの参考として、本市の農業のあり方も充分検討しながら、よりよい農業の経営を維持するため正面向から取り組んでいきたい。

以上申しのべたとおり札幌市農業の現状を町広報により報告します。

五城目町農業委員会
会長 武田 新市

▽夜、外出時の戸締りの励行
▽少年の夜遊び注意
▽火花は大人とものに
▽水泳禁止の川、沼に入らない。
▽小さな止り、小さな被害でも直ちに防犯連絡所又は警察に届け事故を未然に防止しましょう。

五城目町防犯防火組合
五城目町警察署

罹り九千三百九十八カ所、被災者十三万九千四百一十一人という多大なものです。

稲作集団の大型機械技術者 養成研修生募集

このたび県では、大型農業機械(トラクター)の運転技術および整備を身につけて、稲作生産集団の中心となる農民を育成するため、一回の研修期間を五泊六日の日程で、年間九回に分けて研修を行う計画であるから、希望者は自分の希望研修日を指定し、八月十八日まで産業課死申し出て下さい。

なお研修修の内容は次のとおりであります。

● トラクターの運転研修

回数	研修期間
4	8、16 ~ 8、21
5	8、23 ~ 8、28
6	8、30 ~ 9、4
7	9、6 ~ 9、11
8	10、25 ~ 10、30
9	11、1 ~ 11、6

1~3回までは省略

● トラクターの整備研修

回数	研修期間
1	11、15 ~ 11、20
2	12、6 ~ 12、11
3	12、13 ~ 12、18
4	1、17 ~ 1、22
5	1、24 ~ 1、29
6	2、14 ~ 2、19
7	2、21 ~ 2、26
8	3、3 ~ 3、8

● 研修日程 下表のとおり

● 研修場所 大野台高等農業学園

● 宿 宿泊者は全員寮に宿泊させる。寝具は不要であるが洗面具、下着、スリッパは持参すること。

● 雑用品 筆記用具、健康保険証

● 作業衣、雨具、雨靴、印かん

● 経費 受講経費、宿泊料(食事共)は県で負担するほか往復の汽車賃は実費を支給する

【注】 トラクター整備研修を受けるかたは運転免許をもっているもの又は、トラクターの運転研修を受けたものが受講対象者です。

ヤング登場

▽美容師の卵十五名は、春三月、独身者だけでグループを結成した。▽共通のなやみを話し合い、親睦を深め合うためだ。



やよいグループのみなさん

▽春三月の誕生にちなんで「やよい」と名づけ、初代会長には藤井房江さんを選んだ。▽第一回の行事は、森山荘の老人を対象に自分達の腕を振るうこととした。

りしたのか、しきりにはめられず、お礼を言われるやうで照れくさかった。▽貴重な定休日ではあったが、老人たちの喜びの様子をみて、それも忘れてしまった。

①「わが部落、わが町内」とは、かならずしも行政上の単位をいふのではありません。部落町内町地、又は一地区、二、三町村

②原稿 四百字詰原稿用紙二枚以内、左横書きとします。締め切り 昭和四十七年一月十日まで五城日公民館に到着のこと。

▽七月十日、メンパ一七人は森山荘を訪れた。▽美容師の知恵や創意を寄せ合いながら、住みよい地域社会の実現を期すために、秋田県新生活協議会では住民運動のいどちをつくるひとりの方法として「わが部落、わが町内、わが町地等の五年後の理想像」論文を募集している。ふつとて参加して下さい。なお、本町関係では第三回と第三回の二回におたつ優秀な成績を納めております。

①「わが部落、わが町内」とは、かならずしも行政上の単位をいふのではありません。部落町内町地、又は一地区、二、三町村

②原稿 四百字詰原稿用紙二枚以内、左横書きとします。締め切り 昭和四十七年一月十日まで五城日公民館に到着のこと。

③賞金 一席一編三万円 二席一編二万円 三席三編一万円

米転換作目に 明るい見通しの「たばこ」 日本専売公社秋田支局では、減反による農産所得の低下防止に、是非「たばこ」の耕作をと呼びかけている。これは現在まで最も多く生産されていた黄色種はニコチンが強い。ため製品としては余り好ましくないとされており、本県で耕作しているパーレー種は、ニコチン、タールが少なく、消費者の嗜好に合っていることや、その他多くの利点があるので、現在の耕作面積を数倍以上増反する計画があるようです。購入価格も前年比で五、四五年は一七人もおり、四六年は

もつと多くなるものと予測される。増反や新規耕作者の希望には積極的に技術面及び行政面等から指導しており、また新規設備や規模拡大に伴う資金の融資関係も折でもあり、米作転換作物として有利性のあるこの作物を、明四七年から耕作して見ようと思

う方は、今から堆肥の準備や、資材の手配が必要ですが、たばこ耕作的秘伝、または役場へ至急相談して下さい。町では奨励対象として、新規増反分に、一、a当り二千元、継続耕作分には、一、a当り補助、乾草場の設置には、一、a当り四割補助をします。

ただし、第一部(小学校の児童)の作品は、児童が観察した結果をグラフにしたものとする。第三部(中学校の生徒)の作品は、既に済んだ利用または生徒が観察した結果をグラフにしたものとする。第一、第二部の用紙規格は七、八cm×五、五cm(B) 刊行用紙法)とする。第三部第四部の用紙規格は、三cm×七、八cm(B) (販行用紙法)とする。

④論文の内容 ①「わが部落、わが町内」とは、かならずしも行政上の単位をいふのではありません。部落町内町地、又は一地区、二、三町村

グラフィコンクール 作品募集

- 一、応募資格 第一部 小学校児童 第二部 中学校生徒 第三部 高等学校以上の生徒学生 第四部 一般 二、課題 課題は各部とも自由とする。

論文募集 「わが部落、わが町内 五年後の理想像」

私たちが毎日生活している部落町内の中で、いろいろの問題点が山積しているが、これを自分たちの知恵や創意を寄せ合いながら、住みよい地域社会の実現を期すために、秋田県新生活協議会では住民運動のいどちをつくるひとりの方法として「わが部落、わが町内、わが町地等の五年後の理想像」論文を募集している。ふつとて参加して下さい。なお、本町関係では第三回と第三回の二回におたつ優秀な成績を納めております。